



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9353 URL http://www.sakurajima-futo.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森中 通裕
 問合せ先責任者 (役職名)取締役(総務担当) (氏名)増田 康正 (TEL) 06-6461-5331
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,202	—	△8	—	21	—	10	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 68百万円(—%) 26年3月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.71	—
26年3月期第2四半期	—	—

※ 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の連結経営成績及び平成27年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
27年3月期第2四半期	5,837		3,367		57.7
26年3月期	5,790		3,314		57.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,367百万円 26年3月期 3,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	1.00	1.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成27年3月期(予想)の期末配当金につきましては、未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	3.8	20	301.0	60	20.0	40	△26.9	2.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	15,400,000株	26年3月期	15,400,000株
27年3月期2Q	380,501株	26年3月期	379,653株
27年3月期2Q	15,020,168株	26年3月期2Q	15,021,174株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成27年3月期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後の事業推移や業績見通しを勘案の上で、決定次第速やかに開示を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益に改善の動きが見られるものの、急激な円安による原材料価格の上昇や消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による影響などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、より質の高い物流サービスの提供による既存顧客の維持と顧客ニーズへの柔軟な対応による新規貨物の誘致のために、積極的な営業活動に取り組みました。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は未だ厳しく、貨物取扱量の回復が進まないことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は22億2百万円となりました。

一方、費用については、売上原価は20億3百万円、販売費及び一般管理費は2億7百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、営業損失8百万円となりました。一方、保有する金融機関等の株式に係る受取配当金を収受したことなどにより、経常利益は2千1百万円、四半期純利益は1千万円となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、石炭の入着数量は回復基調にあるものの、その他の主要な取扱貨物は、依然として納入先メーカーが減産を継続していることから、総じて取扱数量は低調に推移しました。

以上により、ばら貨物セグメントの売上高は10億8千9百万円となりました。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、タンク稼働率の低下や運送業務の一部終了などの影響はありましたが、荷役数量は増加しました。

以上により、液体貨物セグメントの売上高は5億6千4百万円となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、危険物倉庫で業務を縮小したほか、低温倉庫と冷蔵倉庫の取扱数量が伸び悩んだことにより、荷役業務は低調に推移しました。

以上により、物流倉庫セグメントの売上高は5億3千3百万円となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントについては、売電事業の好調により、売上高は1千4百万円となりました。

なお、当社は、平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との分析は行っておりません。

(ご参考) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,094	△6.5	2	△92.3	32	△43.3	21	△39.6
26年3月期第2四半期	2,239	△4.5	34	△8.2	56	3.0	36	0.9

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は58億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千6百万円増加しました。これは現金及び預金が減少したものの、当社敷地の借地料に係る前払費用(流動資産その他)が増加したこと、また投資有価証券が、保有する株式の時価の上昇等により増加したことなどによるものです。

負債合計につきましては、長期借入金、支払手形及び買掛金などが増加したものの、短期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて6百万円減少し、24億6千9百万円となりました。

純資産合計につきましてはその他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末に比べて5千3百万円増加し、33億6千7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは前払費用の増加額などにより6千3百万円の資金減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出などにより9千6百万円の資金減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、1億1千9百万円の資金減少となりました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億8千万円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、6千3百万円の資金減少となりました。これは税金等調整前四半期純利益を1千7百万円、減価償却費を1億8千万円計上するなどしたものの、前払費用の増加額が2億7千7百万円あるなどしたことによるものです。

なお、前払費用については、従来、当社敷地に係る借地料の6ヶ月分を7月及び12月に支払っておりましたが、当連結会計年度からその支払時期がそれぞれ4月及び9月に変更されたことにより、当第2四半期連結累計期間の支払額が増加したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出を8千2百万円行ったことなどから9千6百万円の資金減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは短期借入れによる収入が8千5百万円、長期借入れによる収入が2億5千万円あるなどしましたが、短期借入金及び長期借入金の返済並びに社債の償還による支出が4億2千4百万円、配当金の支払額が1千4百万円あるなどしたため1億1千9百万円の資金減少となりました。

なお、当社は平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表しました業績予想数値を平成26年10月22日に変更しております。

詳細につきましては、平成26年10月22日公表の「平成27年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,877	449,875
受取手形及び売掛金	346,406	411,673
有価証券	30,011	20,000
貯蔵品	21,939	22,278
その他	96,024	340,050
貸倒引当金	△6,376	△3,665
流動資産合計	1,217,884	1,240,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,542,174	1,470,965
その他	786,283	763,998
有形固定資産合計	2,328,457	2,234,963
無形固定資産		
のれん	9,498	8,548
その他	184,642	183,779
無形固定資産合計	194,140	192,328
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,903	1,741,238
その他	408,836	428,294
投資その他の資産合計	2,049,739	2,169,532
固定資産合計	4,572,337	4,596,824
資産合計	5,790,221	5,837,037
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	166,894	214,917
短期借入金	150,000	-
1年内返済予定の長期借入金	331,320	354,640
未払法人税等	4,408	5,208
賞与引当金	4,253	24,771
その他	273,932	257,758
流動負債合計	930,808	857,296
固定負債		
長期借入金	695,590	743,090
役員退職慰労引当金	93,834	102,594
環境対策引当金	55,975	53,530
退職給付に係る負債	1,697	1,669
資産除去債務	13,191	20,207
その他	685,093	691,044
固定負債合計	1,545,381	1,612,135
負債合計	2,476,189	2,469,432

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	365,161	365,161
利益剰余金	1,731,397	1,726,968
自己株式	△53,920	△54,097
株主資本合計	2,812,638	2,808,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,393	559,572
その他の包括利益累計額合計	501,393	559,572
純資産合計	3,314,031	3,367,605
負債純資産合計	5,790,221	5,837,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,202,017
売上原価	2,003,018
売上総利益	198,998
販売費及び一般管理費	207,321
営業損失(△)	△8,322
営業外収益	
受取利息	735
受取配当金	22,174
その他	16,239
営業外収益合計	39,150
営業外費用	
支払利息	8,951
その他	10
営業外費用合計	8,961
経常利益	21,866
特別損失	
固定資産除売却損	4,672
特別損失合計	4,672
税金等調整前四半期純利益	17,194
法人税、住民税及び事業税	3,720
法人税等調整額	2,882
法人税等合計	6,602
少数株主損益調整前四半期純利益	10,591
四半期純利益	10,591

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	10,591
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	58,178
その他の包括利益合計	58,178
四半期包括利益	68,770
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	68,770

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成26年4月1日
至平成26年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	17,194
減価償却費	180,805
のれん償却額	949
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,711
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,518
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,760
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,444
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,773
受取利息及び受取配当金	△22,910
支払利息	8,951
有形固定資産除売却損益(△は益)	4,672
売上債権の増減額(△は増加)	△65,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	△338
仕入債務の増減額(△は減少)	48,023
未払又は未収消費税等の増減額	19,048
前払費用の増減額(△は増加)	△277,964
その他	△5,463
小計	△73,978
利息及び配当金の受取額	22,919
利息の支払額	△9,067
法人税等の支払額	△3,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	10,000
有形固定資産の取得による支出	△82,282
投資有価証券の取得による支出	△10,000
その他	△14,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	85,000
短期借入金の返済による支出	△235,000
長期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△179,180
社債の償還による支出	△10,000
リース債務の返済による支出	△6,810
自己株式の取得による支出	△176
配当金の支払額	△14,965
その他	△8,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△280,001
現金及び現金同等物の期首残高	729,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	449,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

- ① 生産及び受注の状況
該当事項はありません。
- ② 販売実績

セグメント別作業別売上実績

セグメント	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月～平成26年9月)		
	数量 (千トﾝ・ 千KL)	金額 (千円)	構成比 (%)
ばら貨物セグメント			
荷役業務	1,340	440,195	
海上運送業務	274	230,680	
野積保管業務	1,406	73,771	
倉庫保管業務	182	82,108	
陸上運送業務		192,214	
その他業務		70,928	
計		1,089,899	49
液体貨物セグメント			
荷役業務	369	110,847	
保管業務	651	353,868	
陸上運送業務		64,195	
その他業務		35,415	
計		564,326	26
物流倉庫セグメント			
(危険物倉庫)			
荷役業務		13,467	
保管業務		53,199	
その他業務		750	
小計		(67,417)	(3)
(低温倉庫)			
荷役業務		254,035	
保管業務		64,200	
その他業務		360	
小計		(318,595)	(14)
(冷蔵倉庫)			
荷役業務		42,184	
保管業務		60,137	
陸上運送業務		4,185	
その他業務		1,290	
小計		(107,798)	(5)
(食材加工施設)			
保管業務		39,605	
小計		(39,605)	(2)
計		533,416	24
その他			
その他業務		14,375	1
合 計		2,202,017	100
液体貨物セグメント			
品種別内訳			
石油類	(321)	(448,472)	(79)
白油	161	132,564	
重油	98	141,920	
工業原料油	35	147,279	
アスファルト	26	26,708	
化学品類	(47)	(115,853)	(21)
計	369	564,326	100

※平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間については記載しておりません。